

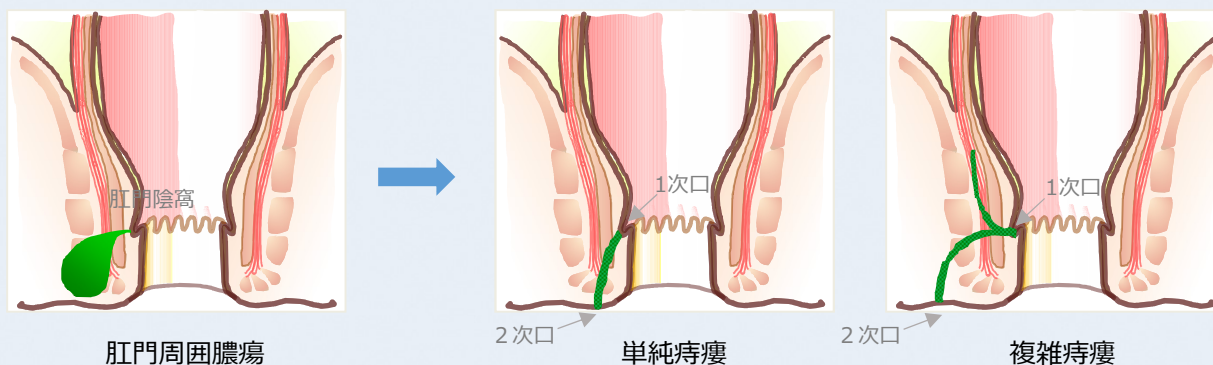
痔瘻（あな痔）

直腸と肛門のつなぎ目にある「肛門陰窩」（こうもんいんか）というくぼみ（=1次口）から細菌が入り込んで感染し、膿のたまりをつくった状態を『肛門周囲膿瘍』といいます。

症状としては、肛門周囲の痛みを伴い、発熱をすることもあります。切開するか、自然に皮膚を突き破る（2次口）ことで、膿が出ると、痛みなどの症状は軽快します。

その後、多くの場合、直腸から皮膚までのトンネルが残ります。このトンネルのことを『痔瘻』といいます。

痔瘻の入り口（1次口）と出口（2次口）が同じ方向にあるものを「単純痔瘻」、枝分かれしたり、違う方向にあるものを「複雑痔瘻」と言います。



治療法

◇肛門周囲膿瘍；切開し、膿を出します
(稀に膿が少ない場合は抗生剤による
保存的治療を行う場合もあります)

…1.2か月後

肛門診察および肛門エコー検査を行い、痔瘻化しているかどうかを確認します

痔瘻化していない場合は、根治術は行いません
ただし、再度、肛門周囲膿瘍になる可能性があります

◇痔瘻；根治するには手術が必要
(手術時期をある程度選ぶことは可能です)

痔瘻は…

- ・自然治癒しません
- ・複雑化することがあります
- ・がん化（痔瘻癌）することがあります

このような理由で痔瘻は放置しないほうが良いとされています

膿皮症、粉瘤、毛巣洞などとの見極めが難しい場合もあります

院長からひとこと

痔瘻の診断は難しいため、大腸肛門専門医を受診しましょう！症状に応じた最適な治療法があります。おしりに不安を感じたら、早めにご相談ください。

